

科目名	日本語教育の実践Ⅲ(中級・上級指導・会話)1～2
授業の目標・ねらい	OPI(Oral proficiency Interview)とは、ACTFL*が開発した汎言語的な口頭運用能力テストであり、1対1のインタビューを通して10段階の会話レベル判定を行います。会話能力を測る際、どのような尺度と基準でレベル判定を行うのか、OPIの概要と事例を紹介しながら考えてみます。また、OPIの手法を特に中・上級での指導に生かす方法についても検討してみます。 * American Council on the Teaching of Foreign Languages(全米外国語教育協会)
授業内容・授業方法	【1回目】 1. OPIとは 2. レベル判定の尺度と基準 3. OPIの構成 4. OPIの実例(インタビューを聞いてみよう) 【2回目】 1. OPI体験(インタビューを経験してみよう) 2. 教室におけるOPI活用法 3. 中・上級の会話指導 4. その他の会話テスト
予習・復習	予習・復習:日本語OPI研究会のホームページより「OPI入門」を予習として、「OPI資料集」を復習としておすすめします。
使用テキスト	プリントを配付します。
参考書等	牧野成一他(2001)『ACTFL-OPI 入門—日本語学習者の「話す力」を客観的に測る』アルク 山内博之(2005)『OPIの考え方に基づいた日本語教授法—話す能力を高めるために』ひつじ書房
講師	長谷川由香
所属	
研究分野	社会言語学、日本語教育
講師紹介	会話教育、日本事情教育、社会言語学(方言)に関心を持っています。近年は会話テストの業務に携わっています。